

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ことのはプラス-彩り-石垣教室				公表日	令和 8年 4月 30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	0	・十分な広さが確保されており、利用人数や活動内容により、和室・運動スペース、室内・室外と使い分ける工夫を行っております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	1	・シフト管理を徹底し、配置基準に沿った人員を配置しております。	・こどもプラス(小学生)、彩り(中学生)と2コースに分かれているので、活動や児童の状態に合わせて今後もそれぞれに適した人員配置を行っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	0	・図や絵を貼って、視覚的にわかりやすいように工夫しております。 ・玄関やトイレ等、多少段差はありますが、活動スペースに関してはフラットとなっております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0	・毎日の掃除と換気、おもちゃの消毒なども行っております。また、運動スペースと座って取り組むスペースを分けており、活動に合わせた空間作りを心掛けております。	・学習スペースに仕切りなどを設置して、個別で集中出来る環境作りを行っていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	2	・体調不良時や情緒面で切り替えが必要な場合は、別室にて個別に対応する事もあります。	・クールダウン出来る場所がもう1か所あれば良いという意見もあるので、環境設定を見直していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	1	・昼礼・終礼のいずれかで目標設定の確認や意見交換を行っております。	・振り返りの時間は取れているので、目標設定を今以上に共有していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	・保護者等の意向等を職員とミーティングで共有し、意見を出し合って実施する事で業務改善に繋げております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	・日々のミーティングや管理者との面談にて話す機会ががあり、情報共有や業務の改善に繋げる事が出来ています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	0	・外部評価を行ってはいませんが、社内評価を行い業務改善に繋げている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0	・研修の案内や機会を設けており、みんなが意識を高め、自己研鑽に励む事が出来ております。	・研修を受けなかった職員に対しての情報共有などを行い、今後も職員全体のスキルアップを目指していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	1	・ホームページで公表し、保護者様に対しては契約時に支援プログラムの説明を行っております。	・ご利用者様のニーズに応じた内容を反映し、適宜見直しをしながら運用していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	0	・ニーズや課題を必要に応じて見直し、客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	・ミーティングの中で計画の確認を行い、支援にかかわる職員が意見を出し合いながら検討を行っております。	・課題を常に共有し、ミーティングで職員間の意見交換を活発に行う事で、こどもの変化や新たなニーズを迅速に把握し、計画の見直しを柔軟に行っていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	・放課後等デイサービス計画は職員間で共有され、計画に沿った支援を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	0	・日々の記録用紙がチェック項目や記述となっているので、アセスメントは取れていると感じております。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	・こどもの支援に必要な項目を適切に設定し、その上で、具体的な支援内容を設定しております。	・実際の支援が計画に沿って行われているかを定期的に振り返り、必要に応じて改善していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0	・プログラムの立案の担当を固定せず、その日の担当と補助に入る職員で考えるようにしております。	・今後も意見交換と振り返りを行い、必要な改善を図っていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	・児童生徒の直近の様子も踏まえて活動プログラムを組む事もあります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	0	・児童に合わせて個別活動、集団活動への参加の度合いなどを調整しております。	・児童の状況に応じた柔軟な対応が出来るよう、職員間での情報共有を更に強化していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0	・支援前にどの児童を職員が対応するか等を話し合い、連携した支援が提供出来るように努めております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	0	・昼礼、終礼等で振り返りを行っております。 ・記録に残し、休みの職員も共有出来るように工夫しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	・支援後に記録する時間を設け、その内容をミーティングで共有し支援の検証・改善に繋げていきたい。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	・定期的にモニタリングを行い、計画見直しの必要性を判断し、適切に対応しております。	・状況に応じた柔軟な見直しを徹底し、より効果的な支援が提供出来るように改善していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	13	0	・地域交流の機会はまだ少ないですが、公園へお出かけしたり、中学生は課外活動や職場体験等を行っております。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13	0	・活動や関わりの中で選択肢を与え、自分で考えて行動する機会を設けるように努めております。	・選択肢の幅やタイミングをもっと広げる事で、児童生徒一人一人の自主性を更に引き出せるように工夫していきます。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0	・管理者や児童発達支援管理責任者、関わりが多い職員などが参加し、こどもの状況をよく理解した上で、適切な情報提供と支援方針の共有を行っております。	・より詳細な情報やこどもの状況に基づく具体的な提案を行う為、会議前に職員間での情報交換を更に強化していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	1	・各関係機関と情報共有を行い、連携して支援を行える体制を整えております。	・セルフプランで相談員さんが少ない事もあり、今後も教育等の機関との連携を深めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	1	・連絡調整は基本、保護者様とのやりとりになっており、学校の情報に関しては各学校のホームページや学校の先生からの情報を参考に確認しております。	・保護者様とは情報共有出来ているが、学校との共有は少ないので、今後学校とも共有する機会を設けていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	3	・就学前の様子を知っている先生や他事業所の職員と情報共有し、事前に情報を得て支援に入る事もあります。	・保護者様からの情報はありますが、園や関係機関との情報共有は少ないので、今後は就学前の情報共有と相互理解に努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	4		・現在対象の児童はおりませんが、今後支援内容などの情報提供を行っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	13		・現在、石垣市に児童発達支援センターはございません。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	10		・今後、放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他のこどもと活動する機会を検討していきます。	

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	10	3	・子ども部会や自立支援協議会に管理者が参加しております。	・協議会の共有により得られた情報を職員間で共有し、支援の質向上に活かしていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	・送迎時やオフィシャルLINEで日々の活動の様子をお伝えし、成長の喜びを共感しております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	6	・保護者様が参加出来る講演会などの情報提供を行っております。	・保護者様が参加出来る研修や家族支援プログラムを実施し情報提供が出来るように研修等の機会を検討していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	・契約時に管理者より保護者様へ説明を行っております。	・契約時に説明を行っておりますが、利用者負担額が変更になった際は再度説明が必要。今後も必要に応じて保護者様への説明を行っていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	2	・保護者様や児童生徒の意向を確認しつつ、放課後等デイサービス提供を作成しております。	・保護者様や児童生徒の意向を基に放課後等デイサービス提供を作成しつつ、定期的に関き取りを行いながら更新していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13	0	・支援内容について、保護者様に具体的な説明を行い、納得してもらった上で同意を頂いております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	・計画書の更新時期や悩み相談があった際に、面談や助言などを行っております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	9	・世界ダウン症の会のイベントの協賛を行うなど、保護者様からご相談や提案があれば、可能な限り対応しております。	・今後は、父母の会の活動支援や保護者会の開催、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援を検討・実施していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	・苦情(ご意見)があった際は、管理者が対応し、速やかに問題解決へ向けて対応を検討し改善しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	1	・日々の活動の様子はオフィシャルLINEで保護者様へ報告しております。 ・Instagramで情報発信も行っております。	・ブログやInstagramの更新が定期的に行っていないので、今後は、定期的に行えるよう業務の改善を図っていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	・個人情報の保護に関するガイドラインに基づき、情報管理を徹底しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	・障害のあるこどもや保護者様に伝わりやすくする配慮(話し方や説明の仕方などの工夫)を行っております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	11	・地域イベントには積極的に参加しております。	・今後は、事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域との繋がりを深める活動を行っていきます。
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	2	・各マニュアルを作成しており、訓練も実施しております。	・マニュアルの見直しや実践的な訓練を今後も行っていきます。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	2	・様々な災害を想定し、訓練を定期的実施しております。また、それぞれの災害に合わせた対応はどれが最適なのかを職員で議論し、訓練に活かしております。	・安全性を確保する為、設備の点検や計画の更新を定期的に行い、ご利用者様に適した支援計画を策定していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	0	・契約時に確認しております。また、保護者様から追加で情報提供があれば、その都度職員と情報の共有を行っております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	2	・現在、食物アレルギーのある児童・生徒は在籍しておりません。	・今後、食物アレルギーのある児童・生徒が入ってきた場合には、事前に職員間で情報を共有し、おやつ提供や調理の際にも再度確認するように努めてまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0	・安全計画を作成しており、事務所にて保管しています。	・実践的で具体的な研修を導入し、全職員の対応力を向上させ、安全管理を更に徹底していきます。

対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	1	・安全計画に基づく取り組み内容を保護者様に周知し、こどもの安全確保に向けた協力体制を築けるように努めております。	・保護者様に対して、より理解度を深めてもらえるよう資料配布等を通じて、情報伝達を行っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	・ヒヤリハット事案があった日に内容の共有と再発防止の為に検討を行っております。	・今後は会社内のヒヤリハットの振り返りなども行い、同じような事案が発生しないような体制作りを行っていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	・研修動画の視聴や情報の共有などを行っております。	・虐待の未然防止を図る為、管理者を責任者とした体制を活用しながら、相談しやすい環境作りを進めていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	3	・身体拘束を行う場合の基準を組織的に定め、マニュアルを作成し、適切に運用しております。	・今後、拘束の必要性が生じた場合は、(法人内の身体拘束適正化委員会にて協議し、)マニュアルに基づき、人権に配慮した適切な方法で拘束を行う事とし、報告・連絡を徹底していきます。